

## 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1493600058	事業の開始年月日	平成18年10月1日	
		指定年月日	平成18年10月1日	
法人名	株式会社ウイズネット			
事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I			
所在地	( 245-0018 ) 横浜市泉区上飯田町 3 7 9 5 - 9			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護  <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2 ユニット	
自己評価作成日	平成22年11月18日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月15日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

笑顔が多く活気あるホームにするにはやはり働くスタッフが元気にやりがいをもって介護(生活)に取り組んでいけるホームであることが欠かせない! 笑顔を大切に心で触れるコミュニケーション、介護のプロとして、やりがいを持って楽しく働けていけるようなホーム作りを目指して頑張っています。

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	神奈川県横浜市西区南浅間町8-22-207		
訪問調査日	平成22年12月15日	評価機関 評価決定日	平成23年2月10日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

## &lt;事業所の優れている点&gt;

◇各ユニットの理念を職員自ら作ったことから、日々の介護で理念具現化への意欲が高く、また、管理者とのコミュニケーションも良いことから、サービスの質を高めようとする提案姿勢が見受けられる。  
 ◇利用者は地元自治会の数多い年間行事に積極的に参加し、地域の方々と馴染みになり、交わりも深めている。  
 ◇隣接する小学校との交流があり、利用者は小学生の来訪を喜んでいる。リビングには小学生からの手紙も掲示されている。  
 ◇万一の災害時には、地域の自衛消防団の応援が得られる関係にある。

## &lt;事業所が工夫している点&gt;

◇職員一同が利用者個人の尊厳の順守により一層努めることを目的として、事務室に認知症グループホーム倫理綱領を掲示している。  
 ◇身体拘束ゼロに向けて、事業所内に身体拘束委員会を設けて、職員の日々の介護の検証を行っている。

## 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

みんなの家横浜飯田北 I

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	I ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年10月から新しい理念を作り一階二階一つの事業所として一つの理念を作り会議のなかで職員には伝えそれに向かってケアにあたっている。	・事業所独自の運営理念を全職員参加で作り上げ掲示している。 ・全職員が日常介護において自主的・積極的に、自分たちが作った理念の具現化に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており地域活動には積極的に参加しており(盆踊り、お神輿等)ボランティアの受け入れも行っている。地域の中学校の生徒のふれあい体験も実施している	・自治会、消防署、地域の自衛消防団、中学生の職場体験や小学生の演奏訪問など、地域と密接な関係を構築し日常交流を深めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学校の生徒のふれあい体験等で認知症の入居者様と関わり学ぶ機会をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヵ月に一回のペースで開催している。出席者の関係で地域3つのホーム合同にて行っている	・3ヵ月に一回のペースで開催している。 ・事業所からの報告の後、地域、家族から散歩や生活状況など活発な質疑発言があり、出された意見は運営に反映している。	・開催頻度を2ヶ月に1回を目標に検討されることを期待します。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制ができている	・泉区内のグループホーム全体で会議を持つときには、泉区役所担当者の出席を得て交流を深めているので、何時でも連携しあえる関係にある。	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置して、身体拘束ゼロに向けての意識向上を図っています。	・事業所内に身体拘束防止委員会を設け、職員指導と意識の向上を図るため、マニュアルに照らして職員の行動を検証するなど、身体拘束ゼロに向けて努力している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社の研修に参加したり、職員会議等を利用し話し合いをもち防止の徹底に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会社の研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります。まだ実際には支援に活用したケースはありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明し納得して頂けるように努めています。事前に契約書をお渡ししよく読んでいただいています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会を開き反映できるように努めています。その内容は職員会議や会社上部に伝え運営に反映させている。	・定例の家族会で家族の要望や意見を聞き、家族会に出席できない家族には、状況報告をしながら電話や手紙で意向の把握に努めている。 ・利用者とは日常の会話の中で意向の把握に努めている。	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議を行い、スタッフの意見交換の場を設け運営に反映しています、また個別に話しをする機会を設けております	・スタッフ会議、毎朝の申し送り、日常のケアで気の付いたことを話し合い、また、管理者は職員の意見で必要なことは業務に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職、給料に反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験、役割、知識にあわせた研修を実施。また誰でも参加できるように掲示している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同一町内の他の2グループホームとは運営推進会議にて関係をもっている、また会社内のエリア会議等通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくご本人のお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡を細やかに取り、ご家族の心境、不安本人の周りの環境などを聞き取りしています 入居時も不安な点がないようにしっかりと説明するように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームにこだわることなく、本人にとって最もいいサービス利用を提案できるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来るだけご本人にしていた だき、スタッフはサポート役であるように考えています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話、手紙、報告書などの形で連絡を取り合いながら信頼関係を築いています。また家族会にて相談しながら本人の状態を理解して頂けるように支援しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの交流は出来るだけ尊重し継続できるように支援している。可能な限り電話や手紙のやり取りが出来るような支援をしています	・利用者の友人が遊びに来た時は、寛いで話し合える場を作るなど支援している。 ・利用者の希望に応じて、旧知の方に対する電話の取り次ぎや手紙の代筆等を支援している。	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体状況や認知症状を含めて入居者同志が関わり、支えあい、助け合っている環境です。必要があれば職員が間に入りより良い関係が保たれるように配慮しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ退居後の生活の確認を行っている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の言葉や、表現、行動に目を向けて何をしたいかを確認して支援している。カンファレンスなどで希望にそえるように検討している	・職員は利用者との会話を多くすることに留意して、今何をしたいかなどの意向把握に努めている。 ・コミュニケーションが取りにくい利用者には、表情や態度から汲み取って支援に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に実態調査を行っています。ご本人様やご家族様に情報をもらい把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録で日々の過ごし方を把握するように努めています カンファレンスや、会議、申し送り等で。日勤帯。夜間帯の様子を集めて状態把握に努めています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活を快適にする為に必要な事柄を職員、本人、ご家族、関係機関を含めて検討して介護計画を作成しています	・本人や家族・居室担当職員及び医師からの情報や本人の日常生活上の課題を基に、職員間で話し合っ て介護計画を作成している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録を残している。申し送りして情報や状況を参考にカンファレンス等で検討しながら計画に反映されています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々 に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理美容や地域のボランティア活動の参加や消防署との避難訓練、消化訓練など、運営推進会議などで取り組んでいます		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の協力医及び歯科医の往診、週一回の医療連携看護師、衛生士の訪問を実施している必要時外部通院も援助している	・日常的には、協力医が月2回往診して、利用者の健康管理にあ たっている。 ・但し、利用者が入所前のかかりつけ医師からの診察を希望する場合には、受診結果を確認している。	



みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問し健康管理や相談等させていた		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	支援状況を担当関係者やご家族お話し本人の不安を和らげ、情報を共有してスムーズに行くよう努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に重度化対応指針を明記し、ご家族に説明、看取り介護についてはマニュアルで方針と具体策を職員共有している	・入所時に、利用者本人及び家族に重度化した場合の対応並びに看取りに対する考え方を説明している。 ・看取りの場合は医師・看護師とのチームワークも必要であり、職員教育はマニュアルに基づいて行っている。	・全職員での看取り対応体制確立のため、計画的な職員研修の実施を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、消防訓練、応急手当や心肺蘇生法について指導している		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を年2回実施し、その他にも自衛消防団の参加もみられ、協力をお願いしている	・消防署、自衛消防団の協力で消防訓練を年2回行っている。 ・地域の自衛消防団から緊急時には支援が得られるようお願いしている。	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いについて職員入職時に契約書をいただいている会議の中でも再確認をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室に認知症グループホーム倫理綱領を掲示し、それに基づき個人を尊重したケアに日々努めている。</li> <li>・スタッフ会議でも言葉掛けや応対について、相互に気づいたことを話し合っってチェックを行っている。</li> </ul>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望を聞きながら支援しています。また言葉だけではなく行動や感情も本人の意思表示と考ええる限り支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意向を最大限に尊重することが最優先業務として、自己決定を尊重すること、会議等で確認しあっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装、髪型など本人の好みなどを考慮して支援するようにしています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の嚥下状態に合わせて、キザミ食やトロミ食を提供し、本人の使いやすい器具を提供して自分で食べられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の中で、できる方には食事の準備や、あと片付けなどを手伝って貰っている。</li> <li>・職員は利用者と一緒に楽しく食事することを心掛け、必要な場合はさりげなく食事介助をしている。</li> </ul>	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	キザミ食やトロミ食などご本人に合った食事形態をとり介助方法も体調に合わせた支援をしている。必要時には食事量、水分量をご家族、医療関係機関に報告し話しあっています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや週一回の歯科衛生士指導にて口腔の清潔保持を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて、排泄パターンを把握して一人ひとりのペースに合わせた介助支援している	・排泄チェック表で排泄パターンを把握しているが、自立支援のため出来る限り自分の意志で行くように見守っている。 ・失敗したときは、他の人に気づかれないようにさりげなくトイレに誘導している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や身体を動かす機会をつくり、また乳製品等の提供もしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者には毎日の入浴も支援している、入浴拒否が見られる方も入浴チェック表にて週2回以上の入浴清拭、部分浴など実施しています	・入浴は希望があれば毎日でも入浴できる。入浴を好まない利用者には誘導を工夫し週2回以上入浴するように努めている。 ・入浴中は楽しい会話を提供し、会話を楽しみながらリラックスできるように心掛けている。	

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの状況を把握して安心して休めるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療関係機関と連携しながら薬の目的用法について理解に努めています。また個別の一覧表があり確認できる体制を作っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自治会に加入し盆踊りやあやめ祭りなど参加している。また意思表示が難しい方についてもご家族等より情報収集して提案していけるように努めています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩や近くのお店で嗜好品を購入して楽しんだり、テラスにて外気浴などを行っています	・天気の良い日は車椅子利用者も一緒に散歩に出掛けて楽しんでいる。 ・また、希望すれば家族のお墓参りにも出掛けている。	・周辺の環境に恵まれ、利用者は散歩や買い物を楽しんでいます。バスで遠出の外出イベントなども企画することを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお小遣いはお預かりして管理していますが、要望に応じてご自分で、ある程度お金の管理をお任せしている方もいます		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望により電話の対応もしている。手紙等（年賀状）は代筆等支援してる		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様が心地よく過ごせるように、工夫し飾りつけなども季節感に合った飾りつけにしています。外気温との差が極端に大きくならないように空調に、きをつけています	・共用空間は明るく空調や室温にも配慮し、壁面には楽しい行事の写真や小学生からの手紙も掲示され、居心地のよい雰囲気となっている。 ・クリスマス・ツリーも飾られて、季節感をだしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスにテーブルをおき入居者様同士が一緒に過ごすことができるように環境を整備しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様はそれぞれ使いなれた物を持ち込み家族の写真や花など、飾り居心地のよい環境に配慮しています	・ベッド、クローゼット・タンスなどは備え付けで、利用者はテレビや家族の写真、仏壇も持ち込んで、自分の部屋造りをして快適に過ごしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者様に必要な物や掲示はできるだけ見やすく表示している。		

みんなの家横浜飯田北 I

事業所名	グループホームみんなの家・横浜飯田北 I
ユニット名	二ユニット

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3, 利用者の1/3くらいの
			4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまにある
			4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3, 家族の1/3くらいと
			4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3, たまに
			4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3, あまり増えていない
			4, 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3, 職員の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3, 利用者の1/3くらいが
			4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3, 家族等の1/3くらいが
			4, ほとんどいない

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今年10月から新しい理念を作り一階二階一つの事業所として一つの理念を作り会議のなかで職員には伝えそれに向かってケアにあたっている		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入しており地域活動には積極的に参加しており(盆踊り、お神輿等)ボランティアの受け入れも行っている。地域の中学校の生徒のふれあい体験も実施している		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学校の生徒のふれあい体験等で認知症の入居者様と関わり学ぶ機会をしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヵ月に一回のペースで開催している。出席者の関係で地域3つのホーム合同にて行っている		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議を含めていつでも相談できる体制ができている		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設置して、身体拘束ゼロに向けての意識向上を図っています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社の研修に参加したり、職員会議等を利用し話し合いをもち防止の徹底に努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	会社の研修や勉強会を通じて学ぶ機会があります。まだ実際には支援に活用したケースはありません。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分に説明し納得して頂けるように努めています。事前に契約書をお渡ししよく読んでいただいています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に家族会を開き反映できるように努めていますその内容は職員会議や会社上部に伝え運営に反映させている。		



みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議を行い、スタッフのい意見交換の場を設け運営に反映しています、また個別に話しをする機会を設けております		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回人事考課を行い、役職、給料に反映させています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	会社内研修制度があり、経験、役割、知識にあわせた研修を実施。また誰でも参加できるように掲示している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同一町内の他の2グループホームとは運営推進会議にて関係をもっている、また会社内のエリア会議等通じて毎月交流や勉強会の機会があり、サービスの適正化・向上に努めています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前訪問してよくご本人のお話をきき信頼関係を築きながら、安心していただけるように努めています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	連絡を細やかに取り、ご家族の心境、不安本人の周りの環境などを聞き取りしています 入居時も不安な点がないようにしっかりと説明するように努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームにこだわることなく、本人にとって最もいいサービス利用を提案できるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来るだけご本人にしていただき、スタッフはサポート役であるようと考えています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話、手紙、報告書などの形で連絡を取り合いながら信頼関係を築いています。また家族会にて相談しながら本人の状態を理解して頂けるように支援しています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔からの交流は出来るだけ尊重し継続できるように支援している。可能なかぎり電話や手紙のやり取りが出来るような支援をしています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	身体状況や認知症状を含めて入居者同志が関わり、支えあい、助け合っている環境です。必要があれば職員が間に入りより良い関係が保たれるように配慮しています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じ退居後の生活の確認を行っている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の言葉や、表現、行動に目を向けて何をしたいかを確認して支援している。カンファレンスなどで希望にそえるように検討している		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に実態調査を行っています。ご本人様やご家族様に情報をもらい把握に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録で日々の過ごし方を把握するように努めています。カンファレンスや、会議、申し送り等で。日勤帯。夜間帯の様子を集めて状態把握に努めています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	生活を快適にする為に必要な事柄を職員、本人、ご家族、関係機関を含めて検討して介護計画を作成しています		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の記録を残している。申し送りして情報や状況を参考にカンファレンス等で検討しながら計画に反映されています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療機関、薬局と居宅療養管理指導を結び安心して生活ができるように努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問理美容や地域のボランティア活動の参加や消防署との避難訓練、消化訓練など、運営推進会議などで取り組んでいます		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の協力医及び歯科医の往診、週一回の医療連携看護師、衛生士の訪問を実施している必要時外部通院も援助している		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師が週一回訪問し健康管理や相談等させていた		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	支援状況を担当関係者やご家族お話し本人の不安を和らげ、情報を共有してスムーズに行くよう努めている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重要事項説明書に重度化対応指針を明記し、ご家族に説明、看取り介護対マニュアルで方針と具体策を職員共有している		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急マニュアルを作成し、消防訓練、応急手当や心肺蘇生法について指導いただいている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練を年2回実施し、その他にも自衛消防団の参加もみられ、協力をお願いしている		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報の取り扱いについて職員入職時に契約書をいただいている会議の中でも再確認をしている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望を聞きながら支援しています。また言葉だけではなく行動や感情も本人の意思表示と考ええる限り支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意向を最大限に尊重することが最優先業務として、自己決定を尊重すること、会議等で確認しあっています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装、髪型など本人の好みなどを考慮して支援するようにしています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の嚥下状態に合わせて、キザミ食を提供し、本人の使いやすい器具を提供して自分で食べられるように支援している		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	キザミ食などご本人に合った食事形態をとり介助方法も体調に合わせた支援をしている。必要時には食事量、水分量をご家族、医療関係機関に報告し話しあっています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアや週一回の歯科衛生士指導にて口腔の清潔保持を保っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表にて、排泄パターンを把握して一人ひとりのペースに合わせた介助支援している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や身体を動かす機会をつくり、また乳製品等の提供もしている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望者には毎日の入浴も支援している、入浴拒否が見られる方も入浴チェック表にて週2回以上の入浴清拭、部分浴など実施しています		

みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	1人ひとりの状況を把握して安心して休めるように支援しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医療関係機関と連携しながら薬の目的用法について理解に努めています。また個別の一覧表があり確認できる体制を作っています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	自治会に加入し盆踊りやあやめ祭りなど参加して楽しんでいる。また意思表示が難しい方についてもご家族等より情報収集して提案していけるように努めています		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日散歩や近くのお店で嗜好品を購入して楽しんだり、テラスにて外気浴などを行っています		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはお小遣いはお預かりしています。買い物に行く時に支払いはご本人にやってもらっています		



みんなの家横浜飯田北 I

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望により電話の対応もしている。手紙等（年賀状）は代筆等支援してる		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様が心地よく過ごせるように、工夫し飾りつけなども季節感に合った飾りつけにしています。外気温との差が極端に大きくならないように空調に、きをつけています		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テラスにテーブルをおき入居者様同士が一緒にすごすことができるように環境を整備しています		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居様はそれぞれ使いなれた物を持ち込み家族の写真や花など、飾り居心地のよい環境に配慮しています		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居様に必要な物や掲示はできるだけ見やすく表示している。		

## 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム みんなの家  
飯田北 I

作成日 平成23年2月10日

**【目標達成計画】**

優先 順位	項 目 番 号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	看取り介護の知識	知識向上	社内研修・外部研修	6ヶ月
2	13	避難訓練（夜間）	夜間訓練技術向上	マニュアルを作り、訓練 を実施していく	6ヶ月
3					
4					
5					